

蝶名林亮『倫理学は科学になれるのか——自然主義的メタ倫理説の擁護』 正誤表
(勁草書房、2016年)

- p.v 下から3行目 「第4章までを」 → 「第4章までは」
- p. 4 10行目 「許容こと」 → 「許容すること」
- p. 23 1-2行目 「目座す」 → 「目指す」 「地位を確保」 → 「地位の確保」
- p. 24 4行目 「主張こと」 → 「主張すること」
- p.25 下から7行目 「[E②] 道德語の」 → 「[E②] は道德語の」
- p.25 下から6行目 「積極的な提案できる」 → 「積極的な提案である」
- p.27 4行目 「このような主張は偽であるなどの」 → 「このような主張は偽であるとの」
- p.27 15行目 「と主張がする」 → 「との主張をする」
- p. 39 下から1行目 あれる→いられる
- p.70 下から3行目 「様相的事実(model fact)」 → 「様相的事実(modal fact)」
- p.79 12行目 「(7.5)で詳しく論じる」 → 「(8.5)で詳しく論じる」
- p.90 最後の行 「ある実験で試験管の中に一筋の煙が」 → 「ある実験で一筋の煙が」
- p.97 1行目 「他者を手段化する行為は」 → 「他者を単に手段化する行為は」
- p. 111 上から2行目 仮定→過程
- p.111 下から8行目から9行目 「様々な問題があることを鑑みると」 → 「様々な問題があることを考慮すると」
- p. 132 18行目 「様々な影響を鑑みると」 → 「様々な影響を考慮すると」
- p. 135 中段 を想定が想定され→が想定され
- p.136 最後の行 「持たれるがある」 → 「持たれることがある」
- p. 138 注 ラインズ→ライオンズ
- p.142 12行目 「このような人間の心理を鑑みて」 → 「このような人間の心理を考慮して」
- p.149 12行目 「①か②の可能性が高まる」 → 「①か③の可能性が高まる」
- p.170 9行目 「あるものかど」 → 「あるものか」
- p. 196 3行目 「科学哲学の動向を鑑みれば」 → 「科学哲学の動向を踏まえれば」
- p.215 3行目 「多くの場面において、自分を含めた他者を手段化する行為は悪い行為である」
→ 「自分や他者を単に手段化する行為は悪い行為である」
- p. 217 上から4行目 であれる→な態度をとれる
- p.218 下から12行目 「悲観的帰納法への反論が」 → 「悲観的帰納法への反論による」
- p. 220 中段 道德的实在論が擁護適切なもの→道德的实在論の擁護が適切なもの
- p. 242 Ladyman, J. 文献の年号記入漏れ→「1998」を追加

文献表の記入漏れ

Annas, J. 1993. *The Morality of Happiness*. Oxford: Oxford University Press.

Copp, D. 2012. 'Normativity and reasons: five arguments from Parfit against normative

- naturalism', in Nuccetelli, S & Seay, G., (eds.), pp. 24-57.
- Harman, G. 1986. Moral Explanations of Natural Facts - Can Moral Claims be Tested Against Moral Reality? *The Southern Journal of Philosophy* vol. 24, pp. 57-68.
- Sumner, L. W. 1996. *Welfare, Happiness and Ethics*. Oxford: Oxford University Press.
- Van Fraassen, B. C. 1989. *Laws and Symmetry*. Oxford: Oxford University Press.